

この4月から国府支援学校に赴任しました校長の名山です。どうぞ、よろしくお祈いします。平成30年度と令和元年度の2年間は教頭として在籍してました。2年ぶりに帰ってきたこととなりますが、その間は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、行事の在り方や教育環境など、2年前と比べると学校の様子も変わってました。引き続き感染防止対策に取り組みながらも、コロナ以前の教育活動を少しづつ取り戻していきたいと考えております。

さて、4月8日に始業式、11日には入学式を終えて、いよいよ令和4年度がスタートいたしました。本校は、徳島県教育委員会が設置した「新しい時代の特別支援学校の在り方検討委員会」の報告書におきまして、地域をダイバーシティ社会へ導く役割を果たすための「ダイバーシティ先導モデル」として整備、強化することが示されました。今年度は、ソフト・ハードの両面から先導モデルとして本格的に取り組んでいく年となります。学校では日々の教育活動の充実を図りながら、先導モデルとしての取組を進めていく中で、保護者、地域、関係機関の皆様には、ご理解をお願いすること、ご協力をお願いすることが多々あるかと思われまますので、どうかよろしくお祈いいたします。

令和4年4月

徳島県立国府支援学校長 名山 優